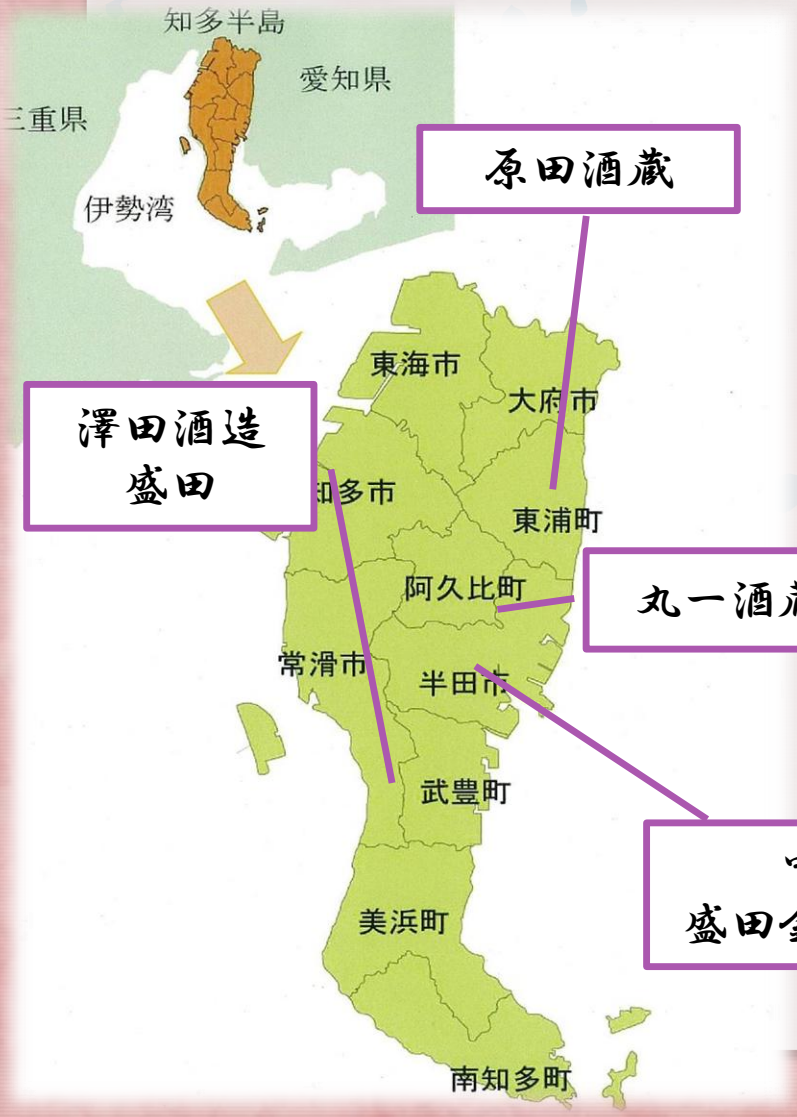
知多半島
酒蔵ツーリズムの取組みついて

半田酒造協同組合
理事長　澤田研一

はじめに



半田酒造協同組合の構成酒蔵

原田酒蔵　代表酒：生道井
丸一酒蔵　　：ほしいずみ
中埜酒造　　：國盛
盛田金しゃち酒蔵
　　：金鯱
澤田酒造　　：白老
盛田　　：ねのひ

酒蔵ツーリズムの取組み

- 観光庁の補助事業「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」で各酒蔵のモニターツアーを６回実施。

・総勢　　１２９名

・金額　5,000円～9,800円※日帰り

・主な観光資源

庖丁儀式、山車・からくり実演、街並み散策（常滑焼さんぽ道・木綿の里）など

酒蔵ツーリズムの取組み

参加者からの感想

期待以上に実りがある旅だった。

お料亭に品書きがあると良かった

お酒が試飲できて、造り手と会話ができてよかった。

おもてなしが非常によかった。

知多半島の他の酒と飲み比べがしたかった。

料理にあった酒の説明があるとよい。

1年くらいに2回定期的にやって欲しい。

酒蔵見学、食事のあとの散策は大変キツい。

澤田酒造の受入れ体制

- 受入れ時期

  年末年始以外。

  ※　問合せがあった時に随時対応

- 受付け方法

  電話・FAX・メールのいずれかで問合せをしていただき、対応。

- 対応可能人数

  ～５０名

- 外国語対応

  案内看板・パンフレット

- その他

  酒蔵開放　２０１４年２月２２日、２３日

  延べ5，６００人来場

  来年実施　２月28日、３月１日

酒蔵ツーリズムの課題

- 酒蔵ツーリズムのガイドライン（統一基準）が必要ではないか　→　品質の確保
- 酒蔵の受入れ体制の構築

  →ツール（看板・パンフレット）→旅行客を満足度向上
- 説明・無料試飲のみでは、採算が合わない。

  例えば、行程時間にも配慮が必要。午前中のタイミングで訪問されても「購入」には繋がりにくい。夕方が好ましい。

Etc.....

行政との連携

- 常滑市（2013年9月13日制定）

  常滑焼の器で注いだ地酒で乾杯条例

  常滑市商工会議所で無料ぐい呑み貸出し中

- 半田市（2013年10月11日制定）

  半田市知多酒で乾杯を推進する条例

- 南知多町（2014年3月20日制定）

  南知多もぎたてみかん酒及び

  知多産の日本酒で乾杯を推進する条例

最後に

- 酒蔵ツーリズムの参加者に

  ①いかに感動を与え、

  ②ファンになってもらうため

  ③仕組みづくり

- 「今」が契機

  様々な場所で酒蔵ツーリズムが注目を浴びている。